

プレゼントが当たる
読者アンケート付き！

TAKE
FREE

Asakura City Promotion Magazine

コトネアサクラ

vol. 06 2026.9

選ばれるまち、
朝倉へ。

朝倉を選んだ、その理由。

- ① 朝倉で育む家族とコーヒーのある暮らし
Uターン・継ぐという選択 “COFFEE HOUSE HIRO”
- ② 心がときめく暮らしを求めて
飛び込むという選択 “お試し居住・空き家・林業”
- ③ 新市長 × 移住者 まちの未来を語り合う

WE ♥ ASAKURA

新・女王卑弥呼が選ぶ #朝倉の好きなこと (朝倉 NEW OPEN)
2年連続! 北部九州エリア 総合 第3位
宝島社『田舎暮らしの本』住みたい田舎ベストランキング 2026

01

鬼塚 博喜 さん
(朝倉市→東京都→朝倉市)ポーリン・エドヴァル さん
(スウェーデン→イギリス→東京都→朝倉市)

Profile

朝倉市古賀で48年続く老舗喫茶店「COFFEE HOUSE HIRO」。2代目・鬼塚博喜さんは、一般企業に勤めた後、東京でコーヒーや飲食を学び、2017年、故郷へ戻ってきました。妻のポーリンさんはスウェーデン出身。ロンドンでデザインを学び、東京で働く中で博喜さんと出会い結婚しました。店を継ぎ、朝倉での暮らしを選んだ二人は、店を守りながら新しい価値も発信しています。世界と朝倉の両方を知る夫婦に、このまちで見つけた豊かさや、家族との暮らし、店づくりへの想いを伺いました。

48年続く喫茶店に、自分たちらしさを重ねて

東京・スウェーデンを経て、夫婦が選んだ朝倉での暮らし

- 「この店、やっぱりいいな。」故郷へ帰る理由になった店

博喜さん(以下博)：父が21歳の時に始めた「COFFEE HOUSE HIRO」は、今年で48周年になりました。店内のテーブルや椅子は創業時から使っているもので、特徴的なピンク色の外観も父のこだわり。当時は反対する人もいたそうですが、「ピンクは幸せの色。道を通った人の印象に残るように」と決めたと聞いています。

実は、僕は最初から店を継ぐつもりだったわけではありません。大学卒業後は半導体メーカーに就職して、営業の仕事をしていました。スーツを着て、多く稼いで……。でも、自分の中で熱が出ない感覚があったんです。

そんな時に実家へ帰ってきて、店のカウンターで食事をしました。社会人になって、実家の店を客観視できるようになったその時、「この店、やっぱりいいな」と思っただけです。個人店って、店の人に会いに行く場所でもあるじゃないですか。お客さん同士がつながったり、人と人との関係が生まれたり。そういう空間を作れることに魅力を感じました。自分も熱を出せる仕事をやりたい。その時、初めて店を継ぐことを意識するようになりましたね。

- 朝倉へ戻るために、東京で吸収し続けた日々

店をやるなら、まずはしっかり勉強しようと思いました。東京・代官山の専門学校へ通い、コーヒーやカフェ運営について学びました。その後、レストランやコーヒーショップで働きながら経験を積みました。当時は、すべてが「吸収」でした。深夜まで働いて、休みの日は一日に7軒カフェを巡ることもあり。強い店にしたい」というのが持論なので、コーヒーの味だけではなく、店の雰囲気や接客、

ショップカードなど、とにかくいろいろなものを見て、「いいな」と感じるものはすべて吸収していましたね。

東京で4～5年暮らしながら、朝倉へ帰ることはずっと頭の中に取り残っていました。その転機になったのは、2017年の九州北部豪雨です。店の厨房も冠水しましたし、家族全体が滅入っているようにも感じました。「今が帰るタイミングなのかもしれない」と思ったんです。

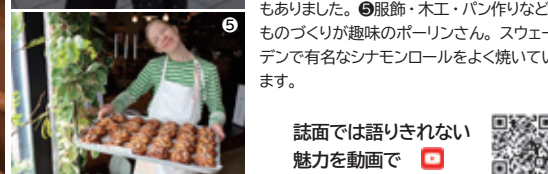
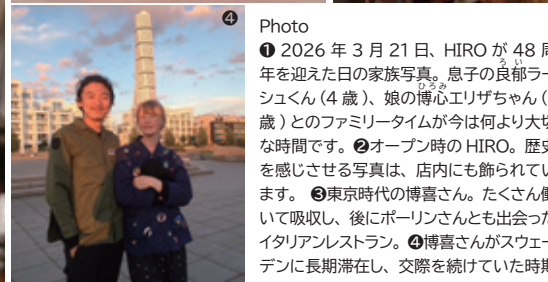
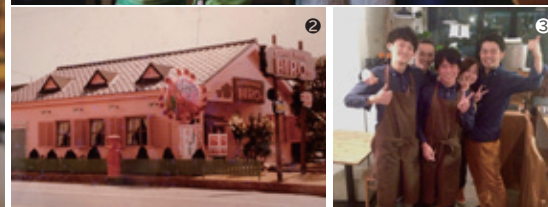
- スウェーデン、ロンドン、東京。そして朝倉へ

ポーリンさん(以下ポ)：私はスウェーデン中部の都市・エレブレー出身です。ロンドンの大学でデザインを学び、卒業制作展をきっかけに日本の企業に誘われて東京へやって来しました。中目黒に住みながらデザイナーとして働いている時に彼と出会い、結婚しました。私にとっては初めての地方暮らし。都会は美術館や展示会など文化に触れる機会がたくさんあるけれど、地方ではどうかという不安はありました。それでも、ゆったりとした時間が流れ、5分～10分待たない場所へ行ける「small city Asakura」での生活の方がすごく気に入っています。心が豊かに過ごせます。

博：ポーリンは朝倉での生活を受け入れてくれて、今ではすっかり慣れています。運転も上手ですよ(笑)。4歳の息子と1歳の娘がいるので、今は家族との時間を何より大切にしたいですね。

- 変えるのではなく、自分たちらしくあるために

店づくりで意識しているのは、「自分たちらしくあること」です。昔から来てくださっているお客さまに「変わらないね」と言っていたので、今は家族との時間を何より大切にしたいです。一方で、エスプレッソメニューを増やし



Photo

① 2026年3月21日、HIROが48周年を迎えた日の家族写真。息子の良郁(4歳)、娘の博心(1歳)とのファミリータイムが今は何より大切な時間です。② オープン時のHIRO。歴史を感じさせる写真は、店内にも飾られています。③ 東京時代の博喜さん。たくさん働いて吸収し、後にポーリンさんとも出会ったイタリアンレストラン。④ 博喜さんがスウェーデンに長期滞在し、交際を続けていた時期もありました。⑤ 服飾・木工・パン作りなど、ものづくりが趣味のポーリンさん。スウェーデンで有名なシナモンロールをよく焼いています。

誌面では語りきれない
魅力を動画で



たり、北欧ヴィンテージの食器を取り入れたり、自分たちの感性も少しずつ加えています。

ポーリンが持つデザインの感覚は大きな魅力です。北欧のものづくりや暮らし方には学ぶ部分も多く、店にも自然と反映されています。飲食店がおいしいものを出すのは当たり前。そのうえで、ショップカードや音楽、食器、テーブルの配置などデザインの細かいところまでこだわって、お客さまに何かを感じてもらえる店でありたいんです。

僕はよく「アイデンティティ」という言葉を使うんですが、自分の培ってきたことややりたいことを表現することが、お店を表現すること、お店を強くしていくことにつながると思います。そこで、お客さまが好になってくれたときに、「ラブだね」ってなるんです(笑)。

- まずは50周年。目の前の毎日をちゃんと大切に

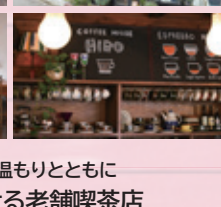
今後は、北欧ヴィンテージ食器の販売もやりたいです。ポーリンから買うという体験も面白いですし、フックになると思うんですよね。まずは50周年を迎えたい。来てくださるお客さまに感謝しながら、自分たちらしい店づくりを続けて、お店を強くしていきたいです。ポ：移住を考えている人には、「Keep an open mind」と伝えたいですね。自分らしさを大切にしながら、オープンマインドで地域に積極的に飛び込んでいくと良いと思います。

博：僕は「まずはその地域で暮らし、その地域を知り、人を知ることが大切だと思います。」

そして、自分が大切にしているもの「アイデンティティ」を見失わないこと。自分らしさを表現することが、その人らしい仕事や人生につながっていくんじゃないかなと思います。



COFFEE HOUSE HIRO
/ ITALIAN TOMATO 甘木

受け継がれる温もりとともに
進化を続ける老舗喫茶店

1978年創業。ドイツのよう張り工法やピンクの外観など、父・博喜さんのこだわりが詰まった店内は、今も大切に残され、どこか懐かしく温かな時間が流れています。ケーキショップ「イタリアントマト甘木店」も併設しており、スイーツも充実。ランチの看板メニューであるパスタやドリアはどれも長年愛され続けている逸品です。広々とした店内は子ども連れでも利用しやすく、世代を超えて親しまれています。変わらない居心地の良さに、鬼塚さん夫婦らしい感性を少しずつ重ねながら、進化を続けている老舗喫茶店です。デザインについてもお気軽にご相談ください。

朝倉での暮らしを覗き見！
1日のスケジュール

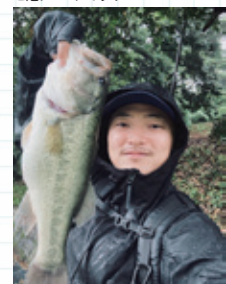
《ある平日》

4:00 起床(博喜さん)
趣味の「バス釣り」へ出かけます
5:30 にポーリンさん起床
7:00 に子どもたちも起床
9:30 仕込み
子どもたちを保育園に預けた後、
家族で協力して準備をします
11:30 ランチ
満席になる日も多いです
18:00 クロース
19:00 夕食・お風呂など
ファミリータイムを楽しみます
22:00 就寝

《ある休日の過ごし方》

土日営業しているので、ポーリンさんは子どもたちを連れて、よく公園へ遊びに出かけます。休日は、夫婦それぞれ好きなことをして過ごします。

Photo: 鬼塚ファミリーのお気に入り
甘木公園: 博喜さんが無心になれるのが釣り。46.5cmのバスは、きっと池レコードです！



三連水車の里あさくら: 子どもたちがのびのび遊べて、美味しいお弁当も買って食べられるのが最高です。



まとめ

- 「この店、やっぱりいいな」が原点
- 故郷へ戻り、自分たちらしい店づくり
- 「small city Asakura」で家族との時間を大切にする暮らし
- アイデンティティを大切に生きる



02

林田 大輔 さん・徳子 さん
(長崎県→福岡市→那珂川市→朝倉市)

Profile

那珂川市から朝倉市杷木志波へ移住した林田大輔さんファミリー。木材に関わる仕事をきっかけに林業への関心を深めた大輔さんが、住まいを探すなかで出会ったのは、築100年以上の古民家でした。木や古いものが好きな夫婦は、その家に「心がときめいた」といいます。人とのつながりが自然に生まれる地域のなかで、自分たちらしい暮らしを楽しむ林田さんファミリー。晴斗くん、蒼土郎くん、玲くんの3人の子もたちと一緒に、朝倉で見つけた豊かな暮らしについて、お話を伺いました。

木に惹かれ、人に惹かれた。

家族5人で選んだ 心ときめく朝倉での暮らし

- 木材の原点をたどりたい -

大輔さん(以下大):これまで那珂川で11年ほど生活していました。材木関係の仕事をしていましたが、毎日材木を扱うなかで、「この木はどこから来るんだろう」と考えるようになったんです。その木が育った山や、木材になるまでの過程など、そうした木材の原点を知りたいという気持ちが強くなり、林業に興味を持ちました。半年間、八女の星野村まで自伐型林業を習いに行ったこともあります。

それから林業への転職を考え、仕事を探し始めました。自分の場合は、やりたい仕事である林業が先にあって、せっかくならその山の近くで暮らしたいと思っていたので、仕事探しと移住は自然とセットになっていきましたね。

徳子さん(以下徳):私はもともと夫が林業に興味を持っていることを知っていたので、「林業をしたい」と聞いたときは、実は「しめしめ」と思っただけです(笑)。その気持ちは応援したいと思っていました。ただ、移住までは考えていませんでした(笑)。でも、夫がそうしたいと言うならという気持ちで、一緒に物件を探し始めました。

- 全部に心がときめく古民家との出会い

大:最初は佐賀方面も含めていろいろな物件を見て回ったんですが、なかなか「ここだ」と思える場所に出会えませんでした。そんな中で見つけたのが、今住んでいる築100年以上の古民家です。

徳:私たち夫婦は木や古いものが好きなんです。夫がサイトでこの物件を見つけてきて、「これは写真より実物を見た方がいい」と思って、早速見に行きました。

家に入った瞬間、ロケットストーブがあって「わー」ってなって、

古民家の雰囲気「わー」ってなって、柿の木でできたタンスにも「わー」ってなって(笑)。とにかく全部に心がときめいたんです。築100年以上の建物なのに大切に使われていて、木の温もりが残っていて、「こんな家で暮らしたらいいな」と自然に思いました。

その後も、季節を変えて何度か朝倉に通いました。お試し居住も利用しました。朝倉で生活するイメージがどんどん膨らんでいきましたね。

- 人とのつながりが自然に生まれるまち

大:お試し居住では、農業体験もさせてもらいました。長男が生まれた時、「もっと自然の近くで子育てしたい」と思って、福岡市から那珂川へ引越したんです。朝倉では畑も果樹園もたくさんあって、農業をより身近に感じました。滞在中に「ここなら自分たちの求めている暮らしができそう」という実感が湧いてきました。いろんな人との関わりも持てて、移住後も自然と地域に入っていきましたね。

朝倉は近所の方との関わりがとても自然で、声を掛けて会話になりやすいですし、コミュニティもとてもオープンで活発です。地域全体で見守ってもらっているような安心感があります。

徳:朝倉に来て一番驚いたのは、人との距離の近さです。夕ご飯のおかずをいただいたり、果物を分けていただいたり。杷木は柿の産地なので、シーズンには柿をたくさんいただきます(笑)。

平日頃から「頼れる場所を増やしたいね」という話を夫婦でしていたんです。子どもたちのこともありますが、家族だけで頑張るのではなく、いろんな人とのつながりを持ちながら暮らしたいと思っていました。朝倉に来てからは、本当に甘えられるところがより増えましたね。とにかく周りの皆さんが元気で——。自分が子どもの頃に感じていた温かい地域の記憶を思い出すことがあります。



Photo

①②「お呼びがかかればいつでも」と山の手入れに意気込む大輔さん。自然に囲まれた環境で、子どもたちもたくましく育っています。③④林田さん夫婦が特に気に入っているロケットストーブや柿の木のたンス。前の所有者が大切に使用していたものを譲り受けました。⑤近所には柿畑が広がります。山の上から甘木・久留米方面の景色を一望できる、密かなお気に入りスポット。

徳子さんは漫画家「リンダ」としても活動中。誌面では語りきれない魅力を Instagram で



林田さんファミリーも活用！
朝倉移住の第一歩を応援

▶ お試し居住



移住後の暮らしをイメージするために、実際に朝倉で生活を体験できる制度。地域の雰囲気や買い物環境、人との距離感などをじっくり確かめることができます。林田さんファミリーも季節を変えて2回利用し、「ここなら自分たちの求めている暮らしができそう」という実感につながりました。

利用期間は、3日間～2週間。滞在中は、希望場所への案内や先輩移住者との面会、農業体験などオーダーメイド型の移住体験ができます。



▶ 移住者交流会



市内で暮らす移住者同士や地域の人たちが、朝倉に移住を検討している人たちが交流する場。新たな仲間との出会いや情報交換の機会として人気です。林田さんファミリーも参加しており、『「なんでそんなことやってるんですか?」と聞きたくなるような面白い人がたくさんいる』と話します。

2026年度は、「朝倉の伝統産業を知り、体験しよう!」をテーマに、秋月藩黒田三職の会と連携して、定期的に交流会を開催しています。



朝倉での暮らしを覗き見！
1日のスケジュール

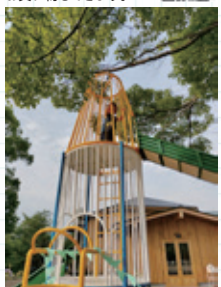
《ある平日》

5:00 起床(大輔さん)
二ツトリに起こされます
6:30 までには家族全員が起床
7:30 出勤・送迎
徳子さんは玲くんを保育園へ送迎
晴斗くん・蒼土郎くんは、学校がフリースクールへ
徳子さんは家事をしたり漫画を描いたり、推し活したり
12:00 フリースクールお迎え
子どもたちはまでらぼけっとへ
16:00 保育園お迎え
18:00 夕食・お風呂など
21:00 就寝

《ある休日の過ごし方》

晴斗くんは近くの野球チームに所属。野球の練習や試合での活躍を家族で応援しています。

Photo: 林田ファミリーのお気に入りのまでらぼけっと: 旧志波小学校のグラウンド跡地に生まれた地域みんなの自由な居場所(たまに場)。グリーンコープのお買い物もできます。



まとめ

- 林業への興味から始まった移住
- 心ときめく古民家との出会い
- 頼れる場所が増えていく朝倉暮らし
- 子どもたちはのびのびと成長中
- 「得意の交換」で助け合える地域へ



朝倉はまだ面白くなる。

中島新市長と移住者が語る このまちの可能性

豊かな自然やおいしい食べ物だけではありません。人とのつながりがあり、新しいことに挑戦できる余白がある。そんな朝倉の魅力や課題、そして未来について、中島新市長と移住者の皆さんが語り合いました。

朝倉に「変化」を起こしたい



中島市長は、移住施策が「単に人口を増やすためではない」と話します。

中島「地域が元気であり続けるためには、一定の人口規模が必要です。でも、それだけではありません。朝倉には魅力がたくさんあります。その魅力を活かしながら、このまちに新しい変化を生み出したいんです。『朝倉に変化を起こす』ことを期待していただいて、私は市長に選ばれたと思っています。

若い人たちにバトンをつなぎ、さまざまなことにチャレンジしてほしい。福岡から近い朝倉には大きなチャンスがあります。このままでは終われません」

住んでわかった朝倉の魅力と可能性

移住した皆さんがそろって語ったのは、「人の温かさ」でした。地域おこし協力隊として福岡市からUターンした浅川華子さんは、朝倉で挑戦し続ける理由をこう話します。

浅川「朝倉は本当に人がいいんです。何か新しいことに挑戦したいと思ったときに、必ずサポートしてくれる人がいます。『やってみたらいいやん』と背中を押してくれる人がたくさんいるんです。だから私も、いろんなことにチャレンジできています」

愛知県から地域おこし協力隊として移住した仁科徹さんも、朝倉での暮らしに驚いた一人です。

仁科「来てみて初めて感じんですが、朝倉は生活の質がとても高いと感じています。水も食べ物もおいしい、買い物に困らない。高速道路も近くて、九州のどこに行くにもアクセスがいい。良い意味ですごくギャップがありました」

東京出身の栗林杏子さんは、子育てを通して感じた朝倉の魅力をこう話します。

栗林「関東にいた頃は、いつも周りに遠慮しながら、正直ビクビクしていました。電車の中では静かにしなくちゃ、マンションでは下の階に迷惑をかけないようにしなくちゃ、温泉はおとなしく入らなくちゃ、とか。でも朝倉に来てからは、そういう場所で一切我慢しなくてよくなりました。子どもを地域全体で受け入れてもらっているような安心感がありますね。おかげで子どももものびのび育っています」

中島「朝倉の人は本当に子どもを大事にしますよね。それはこの地域の財産だと思います」

朝倉の「当たり前」に価値がある

朝倉の魅力を語り始めると、もう止まりません。

浅川「外に出て初めて気付いたんです。朝倉って、意外と知られていないなって。フルーツ、温泉、豊かな自然。来てもらえたら絶対ファンになってもらえると思うんです」

栗林「すごく分かります。東京から遊びに来た姉の家族と一緒に原鶴温泉の旅館を訪れた時——。冷たくて大きなプールに大はしゃぎ、食事もおいしくて、筑後川沿いのロケーションも素晴らしくて。私、ホテルで働いていたこともあるんですけど、感動しっぱなしで。『こんなに特別な体験ができるのに、なんでもっと人が来ないんだ！』って思いました」



浅川 華子 さん

▶朝倉市出身。2021年、地域おこし協力隊着任を機に福岡市からUターン移住。退任後は開業し、サイクルツーリズムやイベント企画運営に取り組むほか、朝倉市魅力発信アンバサダーを務める。

中島 秀樹 市長

▶朝倉市出身。福岡銀行、朝倉市議会議員などを経て、2026年4月に朝倉市長に就任。「対話」と「挑戦」をキーワードに掲げている。

栗林 杏子 さん

▶東京都出身。2021年、埼玉県から夫、息子と3人で移住。フルリモートで東京の企業に勤務するほか、2025年、民泊を秋月で開業。

仁科 徹 さん

▶愛知県出身。2025年、地域おこし協力隊着任を機に移住。前職は、香島島で無人島インストラクターやバーテンダーなど。

そんな話を聞きながら、中島市長も笑顔を見せます。

中島「朝倉市で将来バケるものって何があると思いますか？」

仁科「SHINDO LAB はもっとバケると思います。世界レベルのウイスキー蒸溜所が朝倉にあること自体がすごい。熟成されたウイスキーがこれからどんどん世に出されることでさらに注目されると思いますし、やっぱり朝倉の水って強みなんじゃないですかね」

中島「本当にそうですね。朝倉には、当たり前すぎて気付いていない魅力がたくさんあると思うんです。水もその一つですね」

浅川「私もそう思います。子どもの頃の思い出を振り返ると、やっぱり川遊びなんです。夏は毎日のように川へ行って、魚を捕まえたり泳いだり。今思うと本当にぜいたくな環境だったなと思います」

栗林「子育てをするようになって、その価値を改めて感じます。子どもが自然の中で思い切り遊べる環境って、実はすごく貴重ですよ」

中島「そうですね。私は若い頃の『濃密な経験』って、その後の人生に大きな影響を与えていると思っています。川遊びもそうですし、自然の中で遊んだ記憶や地域の人のつながりもそう。そういう経験ができる環境は、これからもっと価値を持つと思うんです」



挑戦する人が、このまちを面白くする

中島「皆さんが朝倉の魅力を話してくださるのは本当にうれしいんですが、もちろん課題もあります。朝倉には『和を以て貴しとなす』という良さがあります。みんな仲が良くって、人柄も温かい。でもその一方で、波風を立てないようにする空気も感じるんです」

栗林「移住してきた側からすると、『察してよ文化』は正直わからない部分があります。学校でも地域活動でも、『失敗しないように』という空気を感じるがあります。でも、もっと挑戦してもいいんじゃないかなと思うんです」

中島「まさにそこなんです。私はよく『ファーストペンギンになれ』と言うんです。最初に飛び込むのは勇気がいる。でも、その一歩が周りを動かす。意見がぶつかることを恐れず、挑戦する人をもっと増やしたいんです」

浅川「挑戦する人が増えたら、もっと面白くなると思います。まずは観光でもいいから朝倉に来て、地域の人とつながって、『また来たいな』と思ってもらう。その先に移住や定住があるのかなと思います」

WE ♥ ASAKURA 皆さんが語る #朝倉の好きなとこ

♥ キリンビール福岡工場



「いろいろなスポットを見つけて、その魅力を発信するのが好きです。キリンビール福岡工場は、工場見学を通して、できたてのおいしさが楽しめるおすすめスポットです」
by 浅川華子さん

♥ SHINDO LAB



「お酒が好きなので、朝倉に移住する前から注目していた場所です。これから“もっとバケる”と思っています。朝倉の可能性を感じたいなら、ぜひ！」
by 仁科徹さん

♥ 秋月へ続く国道 322 号



「初めて通ったとき、川と山の姿になってきれいなんだらうと感動し、『私は秋月に住む!』と決めました。それが叶った今も、変わらず毎日感動しています」
by 栗林杏子さん

♥ 自宅から望む麦畑



「麦畑が黄金色に染まる季節が大好きです。バックには耳納連山も見え、自然の雄大さを感じます。朝、鳥の鳴き声が聞こえるのも良いですね」
by 中島秀樹市長

中島「都市部で働いていた頃、自分がいてもいなくても社会は回っていく。そんな感覚になることがありました。たくさんの人や企業が集まり、多様な価値観が行き交う。都市には都市の魅力があります。けれど朝倉には、それとは違う魅力があるんです。朝倉では、一人ひとりが主役になれる」

全員「それはすごく感じます。自分がやったことに対して、ちゃんと反応が返ってくるんですね」

中島「地域づくりでも、子育てでも、仕事でもいい。大きなことじゃなくてもいいんです。イベントを手伝う。地域の人と話す。好きなことを発信する。そういう小さな一歩からでも、まちとの関わりは始まります。若い人でも、移住してきた人でも、地元の人でもいい。いろんな人がチャレンジして、それを応援する人がいて。そうやって朝倉はもっと面白くなっていくと思うんです」

そして最後に、市長はこう語りかけました。

「朝倉を、挑戦であふれるまちにしたい。

観客席から見ていただけじゃなくて、

一緒にセンターコートに立ってプレイしましょう」

朝倉は、これからもっと面白くなる。新しい挑戦が生まれ、人と人がつながり、また新しい物語が始まる。このまちは今、大きく動き始めています。



WE ♥ ASAKURA 新・女王卑弥呼が選ぶ

朝倉の好きなところ

好きだから伝えたい。私たちの朝倉。

朝倉市が群馬台国の有力な候補地の一つともいわれていることになみ、長年親しまれている朝倉市観光大使「女王卑弥呼」。
2026年4月に第44代に選ばれた川崎恵さん、内田百合乃さんは、イベントやSNSを通じて朝倉の魅力を発信しています。
今回はお二人に、お気に入りのスポットと気になるNEW OPENのお店を教えてくださいました。



お二人の活動は
朝倉市観光協会 Instagram @0946asakura で発信中！



原鶴温泉の屋形船で挑戦した
「夜の踊り子ダンス」が話題！
再生は9.4万回超え

川崎 恵さん

▶福津市出身、筑前町在住。「移住してきたからこそ朝倉の魅力をフラットな視点で伝えたい」と意気込む。趣味は食べ歩き、お酒、ウォーキングなど。自身のInstagram「筑前町のめぐみ」としても活動中。



朝倉の好きなところ

ガーデニングショップ 四季の里

花が大好きな私にとって、四季の里は癒やしの空間です。広い敷地には季節の花が咲き、さまざまな種類の植木もたくさん。木陰を散歩するのが大好きです。店内にはかわいい雑貨や、美味しいコーヒー屋も。敷地内にはお洒落な洋服屋や、東北直送のリンゴ屋もあり、まるでテーマパークのよう！スタッフの皆さんはいつも笑顔で迎えてくださり、ガーデニングについて何でも相談できる力強い味方です。

📍 朝倉市三奈木 3412
🕒 月・火・木・金・土・日曜日
🕒 10:00～17:00



内田 百合乃さん

▶朝倉市出身、地元・秋月の大学生。活動のきっかけは、地元の先輩が「女王卑弥呼」を務めていたこと。趣味は工作、特技はバレエ。幼い頃から感じている等身大の朝倉の魅力を全力で発信中。



朝倉の好きなところ

秋月八幡宮

幼い頃からこの神社によくお参りに来ており、たくさんのご利益を受けて来ました。悩み事があるとなんかここへ来て考えたりしてます。木々に囲まれて人気も少なく、落ち着いて自然の中で過ごせる場所。そんな自分の悩み事もちっぽけに思えて、一気に吹っ切れるくらい心が軽くなります。地域の方々によって管理もされており、地域に愛される素敵な神社です。

📍 朝倉市上秋月 1717-1
※ Google マップでは、「上秋月八幡宮」として掲載されています。



女王卑弥呼おすすめ NEW OPEN



2026年3月OPEN

あさくら珈琲

福岡市内に自宅も勤務先もあった店主さんは、15年前から美奈宜の杜の温泉に通う朝倉好き。趣味が高じて約3年前、現店舗の近所でプレハブの珈琲屋をスタート。今年、満を持してご自分のお店をオープンされました。手軽に美味しく、味の違いを楽しんでほしいというのがモットー。スペシャルティコーヒーを使ったゼリやカキ氷など、贅沢な新メニューの開発にも余念がありません。お客様を喜ばせたい店主さんの淹れる一杯、ぜひ堪能していただきたいです！

📍 朝倉市板屋 409-2
🕒 金・土・日曜日
🕒 11:00～17:00



2026年4月OPEN

カフェ・ラ・ボワ・ラクテ

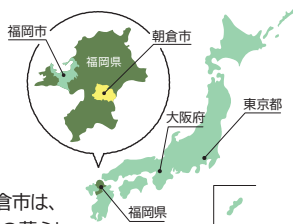
2026年にNEWオープンした朝倉市千手にあるカフェです。普段はカフェとして焼き菓子やコーヒーを提供しており、夜予約をすればコース料理が楽しめます。8月からは民泊も開始。山の中にあり、カフェのテラス席の横には川が流れており、自然と隣り合わせでゆっくりとした時間を過ごせます。

📍 朝倉市千手 1119-1
☎ 090-7299-7409
🕒 水～日曜日・祝休日
🕒 カフェ：12:00～17:00
🕒 レストラン：12:00～20:00（予約制）



あさ暮らし が選ばれる理由 04 選

01 近さがうれしい



朝倉市は、人々の暮らしに潤いを与える、水の恵みあふれるところ。福岡県のほぼ中央部に位置し、市の北東西の三方を山々に囲まれ、南には九州一の大河 筑後川が流れています。福岡都市圏へのアクセスも良く、車で約 40 分。近くで登山やハイキングも楽しめます。豊かな自然に囲まれているため、新鮮な野菜や果物が簡単に手に入ります。自然、食材、レジャー、人、そして文化——それら全てに近い暮らしができる場所です。

02 のびのび遊んで、すくすく育つ 子育て環境



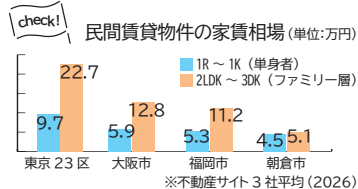
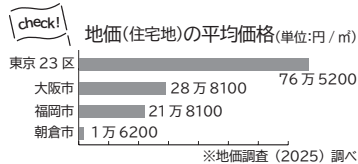
遊んで学べる！体験イベントや「あまぎ水の文化村」など、子どもたちののびのび成長できる環境が整っています。

- check! 保育・教育施設の数
 保育園：13 / 幼稚園：1 / 認定子ども園：6
 小学校：11 / 学童保育所：16 / 中学校：6
 高校：3 / 専門学校：1
- check! 安心して子育てでできるよう支援
 ・保育園の待機児童はほぼゼロ ※年度途中は発生する場合あり
 ・就学前の子どもの医療費や小・中学生の入院費を助成、ファミリー・サポート・センターあり、つどいの広場・地域子育て支援センターあり など

03 都会と比べて、広い家に住める



物価、地価、民間賃貸物件の家賃相場など、あらゆる面で都会と比べて安価に暮らすことができます。



04 充実の移住・定住支援



「朝倉来んね〜良いとこよ!」の思いを込めて。移住・定住のための支援制度や相談会が充実しています。2024 年 4 月、朝倉市移住定住交流センター「コンネアサクラ」オープンなどをきっかけに、「朝倉への移住」が注目されています。朝倉市では、移住者交流会を定期的に開催したり、移住者の受入に積極的な移住受入モデル地域もあります。お気軽にご相談ください。

check! あさ暮らしお試し居住ハウス
 朝倉市への移住を考えている人に、無料で移住体験ができる住宅「あさ暮らしお試し居住ハウス」を用意しています。予約制で、利用期間は 3 日間～2 週間。滞在中は、希望に応じて、希望場所への案内や先輩移住者との面会、農業体験などオーダーメイド型の移住体験ができます。

check! 移住定住促進奨励金
 朝倉市外から朝倉市へ移住した人に、単身で最大 20 万円、世帯で最大 40 万円、子育て世帯で最大 60 万円支援します。年齢要件などがあります。



▲詳しくは市 HP をご確認ください



これからの注目ニュース！
次号以降で詳しく紹介！?

2024.10.01

地域で挑戦し、未来を描く。 朝倉市ガクチカ応援事業、始動！

就職活動で語れる経験を、朝倉でつくる。

朝倉市ガクチカ応援事業は、学生が地域活動や情報発信に取り組みながら、自分だけの「ガクチカ（学生時代に力を入れたこと）」をつくるインターンシップ事業です。地域 PR 動画の制作や SNS 発信、シティブロモーションマガジン「コンネアサクラ」の編集などを通じて、スキルを磨きながら、朝倉の魅力発信に挑戦できます。

今年度、朝倉市クリエイター塾には、6 人の学生クリエイターが参加。それぞれの視点や感性を活かしながら、地域と関わり、仲間とともに学びます。

また、このシティブロモーションマガジン「コンネアサクラ」の取材や編集を体験できる学生ライターも募集中。地域の人や魅力ある取り組みを取材し、自分の言葉で発信してみませんか。

朝倉での経験が、きっと未来につながる一歩になります。



／ 朝倉はもっともっと面白くなります! ／



Photo:市内外から 5 人の大学生と 1 人の高校生が、映像づくりに挑戦します。今年の朝倉市クリエイター塾は 8 月に開講し、10 代～70 代の過去最多 62 人が参加。12 月まで ROBOT 指導の下、学びます。

皆さまのご感想をお寄せください！

- 朝倉市シティブロモーションマガジン「コンネアサクラ」はいかがでしたか？
 下記二次元コードから、簡単なアンケートにご回答ください。今後の企画に役立ててまいります。
 抽選によりプレゼントが当たります！
 当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。
- プレゼント
 COFFEE HOUSE HIRO ランチ無料券 (1 人分)
- 応募期限
 令和 8 年 10 月 31 日 (土)
- 応募のキーワード
 挑戦 であふれるまち



編集後記

Interviewer

思い付きから実現した新市長と移住者の座談会企画。多忙の中、協力いただいた市長に感謝です。市長の言葉から一番感じられたのは「挑戦」と「変化」。また違う角度で挑戦、変化が始まっていく朝倉を想像しワクワクしました。紙面の都合でどうしてもすべてを紹介することはできませんでしたが、今回で「朝倉の未来はより明るい」と確信する企画となりました。

Illustrator & Designer

毎号似顔絵を描かせてもらってますが、皆さん本当に朝倉での生活を楽しまれてる様子が伝わってきます。今年、小学生になった娘。甘木川花火大会は毎年家族で行っていたのですが、今年は仲良しのお友達と一緒に行くことに！浴衣を着てはしゃぐ姿をほほえましく思いながら、少し寂しさも感じました。大人になったときに、朝倉で過ごした夏を思い出してくれたらいいなと思います。

Editor

意図せず「挑戦」というキーワードでまとまった今号。実は私たちも、これまでにない企画や表現に挑戦しました。HIRO さんの言葉を借りるなら、「写真が、動画が、いや『コンネアサクラ』のすべてがさらに強くなった」と自分でも言いたくなるほどの手ごたえ。この夏、川遊びや花火に夢になった我が子たちと同じように、私にとってのこの一冊づくりが、十分すぎるくらい「濃密な経験」となりました。

Asakura City Promotion Magazine
コンネアサクラ vol.6

コンネアサクラ
 朝倉市シティブロモーションマガジン
 2026 年 9 月発行

〔制作〕
 朝倉市シティブロモーション課
 (朝倉市移住定住交流センター コンネアサクラ)
 〒838-0068
 福岡県朝倉市甘木 1315-1

〔協力〕
 K-Works 末吉弘聖 / 株式会社アソビゴト
 草場鷹将 (朝倉市魅力創出クリエイター)
 COFFEE HOUSE HIRO
 一般社団法人朝倉市観光協会
 ガーデニングショップ四季の里 / あさくら珈琲
 カフェ・ラ・ボワ・ラクテ

〔Special thanks〕
 取材・制作に協力いただいたすべての皆さん

〔印刷〕
 株式会社四ヶ所

「コンネアサクラ」は電子ブック版で読むこともできます

朝倉市シティブロモーションマガジン コンネアサクラ 検索

朝倉市の情報を各 SNS でも配信中です



株式会社『田舎暮らしの本』住みたい田舎ベストランキング (2026 年版)

2 年連続！ 北部九州エリア 総合部門 第 3 位 にランクイン！

[Information]



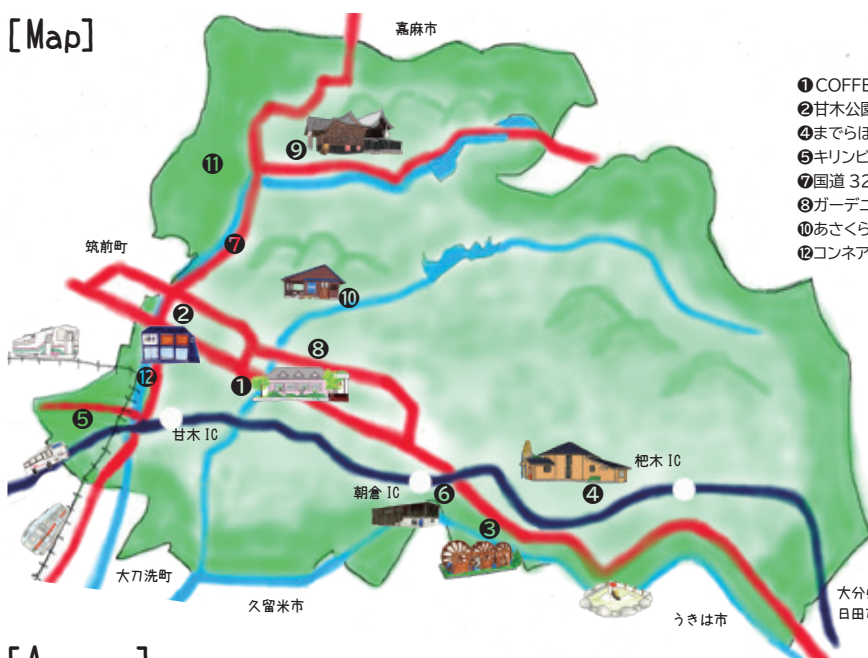
『田舎暮らしの本』の恒例特集「住みたい田舎ベストランキング」(2026 年版) が 2026 年 2 月号にて発表されました。今年で 14 回目となるこのランキングには、全国 547 市町村が参加。移住支援や子育て、自然環境など 336 項目から、部門別にランキング形式で紹介される企画です。

[Photo]

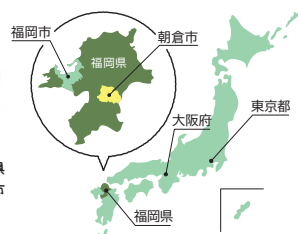
朝倉愛があふれる移住者の皆さんと喜びを分かち合いました。若い移住者も増えています。



[Map]



- ① COFFE HOUSE HIRO / ITALIAN TOMATO
- ② 甘木公園 ③ 三連水車の里あさくら (P1-2)
- ④ まだらぼけと (P3-4)
- ⑤ キリンビール福岡工場 ⑥ SHINDO LAB
- ⑦ 国道 322 号の景色 (P5-6)
- ⑧ ガーデニングショップ 四季の里 ⑨ 秋月八幡宮
- ⑩ あさくら珈琲 ⑪ カフェ・ラ・ボワ・ラクテ (P7-8)
- ⑫ コンネアサクラ



[Access]

福岡空港	車で約 40 分	
博多駅	JR 鹿児島本線で約 35 分	基山駅
博多バスターミナル	車で約 40 分 (高速道路利用) or 高速バスで約 50 分 or 西鉄バスで約 60 分	甘木鉄道で約 25 分
西鉄天神駅	西鉄天神大牟田線で約 20 分	朝倉街道駅
天神バスターミナル	西鉄天神大牟田線で約 30 分	小郡駅
	車で約 40 分 (高速道路利用) or 高速バスで約 50 分	甘木鉄道で約 20 分